資料３

患者発生時の対応について

岡山県備中保健所

新型コロナウイルス感染症対策

- 感染が確認された際の対応

〇積極的疫学調査（感染源の探求、濃厚接触者抽出）入院調整、移送、消毒指導、入院勧告・就業制限等の手続き（感染症診査協議会）、陽性者フォローアップ（健康管理や病状把握）、退院後の生活指導

〇濃厚接触者：行政検査、積極的疫学調査、健康観察、有症状時の受診調整

- 受診相談センター（保健所）

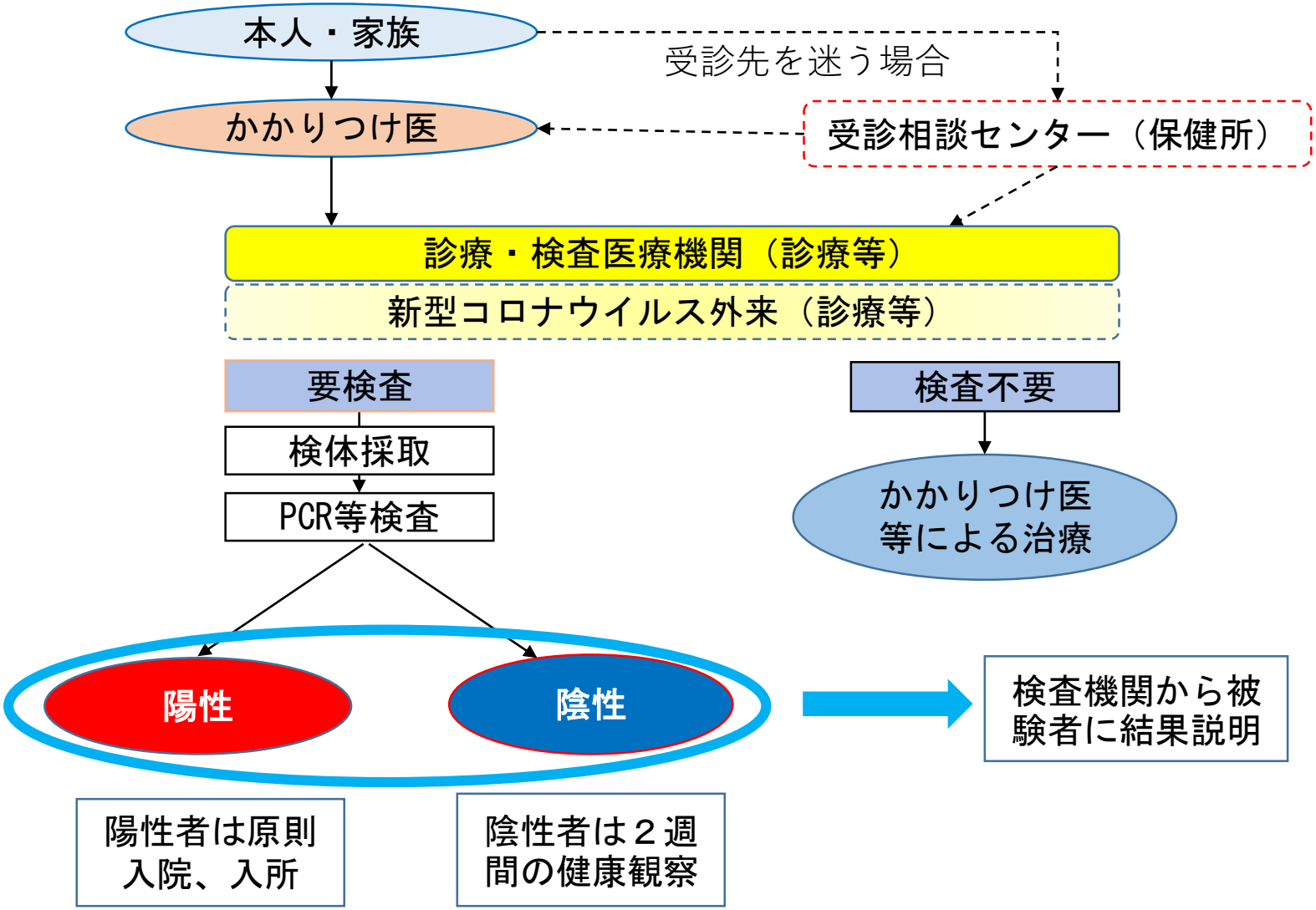
〇住民や医療機関からの相談、受診調整

- 地域の医療提供体制整備に向けた調整

〇医師会・医療機関等との連絡会等（県調整本部との協働）

- 各種施設の新型コロナウイルス感染症対応にかかる指導

検査の流れ


本人・家族
受診先を迷う場合
かかりつけ医
受診相談センター（保健所）
診療・検査医療機関（診療等）
新型コロナウイルス外来（診療等）
要検査
検体採取
PCR等検査
検査不要
かかりつけ医
等による治療
陽性
陰性
検査機関から被
験者に結果説明
陽性者は原則
入院、入所
陰性者は２週
間の健康観察

検査陽性時の流れ

①患者の入院調整、必要に応じて移送

②積極的疫学調査、施設への指導の実施

- 本人への聞き取り
- 施設への聞き取り
- 濃厚接触者の特定
- 濃厚接触者への聞き取り、PCR検査実施、健康観察、保健指導等
- 必要に応じて消毒命令・感染拡大予防等の指導

施設との連携
今後の対応について相談

調査の内容

（１）患者の基礎情報
　　・年齢、性別、職業、基礎疾患、症状の変化等

（２）どこから感染したか（**感染源の特定**）

（３）誰に感染させた可能性があるか。
（**濃厚接触者の特定**）

（２）感染源の特定

１）行動調査を行う期間

・発症前14日間（潜伏期間）を目安に実施。

２）行動調査のポイント

・患者等との接触歴

・感染リスクが高い「３密」といわれる場所への行動歴

・県外（海外も含む）への移動や県外の人との接触歴

濃厚接触者とは

〇患者（確定者）の感染可能期間に接触した者のうち、次の範囲に該当する方

- 感染可能期間とは、コロナウイルス感染症を疑う症状を呈した２日前から診断されて症例として対応される直前まで
- 患者と同居あるいは長時間の接触（車内、航空機内等）があった者
- 適切な感染防護無しに患者を診察、看護もしくは介護していた者
- 患者の気道分泌物もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い者
- その他：手で触れることのできる距離（目安として1メートル）で、必要な感染予防策無しで、患者と１５分以上の接触があった者（周辺の環境や接触の状況等個々の状況から患者の感染性を総合的に判断する）

（３）濃厚接触者の特定

１）調査を行う内容

・発症の２日前から患者と診断されるまでに、接触した者について

２）調査のポイント

・同居者・家族、職員等（職員、職場に出入りする者、出張先で接点のある者）、プライベート（ジム、飲食店等会食）、医療従事者（受診時）、面会者等

・「感染リスクが高い・３密」といわれる場所等への行動確認

・予防行動の有無

・周囲に体調を崩した人はいないかなど

濃厚接触者への保健所の対応について

①本人、施設への聞き取り
②濃厚接触者は原則としてPCR検査を実施
③陰性の場合、最終接触日から14日間の健康観察
④保健指導
- 不要不急の外出は控える。公共交通機関の利用は避ける。外出時のマスク着用の指導。
- 咳エチケット及び手洗いの徹底。
- 症状が現れた場合、医療機関受診前に保健所へ連絡する。
- 濃厚接触者の同居者「ご家族に新型コロナウイルス感染が疑われる場合家庭内でご注意いただきたいこと～８つのポイント～」参照。）

ご家族に新型コロナウイルス感染が疑われる場合

家庭内でご注意いただきたいこと

～8つのポイント～

（一般社団法人日本環境感染学会とりまとめを一部改変）令和2年3月1日版

部屋を分けましょう

◆ **個室にしましょう。**食事や寝るときも別室としてください。
・子どもがいる方、部屋数が少ない場合など、部屋を分けられない場合には、少なくとも2m以上の距離を保ったり、仕切りやカーテンなどを設置することをお薦めします。
・寝るときは頭の位置を互い違いになるようにしましょう。

◆ **ご本人は極力部屋から出ないようにしましょう。**
トイレ、バスルームなど共有スペースの利用は最小限にしましょう。

感染者のお世話はできるだけ限られた方で。

◆ 心臓、肺、腎臓に持病のある方、糖尿病の方、免疫の低下した方、妊婦の方などが感染者のお世話をするのは避けてください。

マスクをつけましょう

◆ **使用したマスクは他の部屋に持ち出さないでください。**

◆ **マスクの表面には触れないようにしてください。**マスクを外す際には、ゴムやひもをつまんで外しましょう。

◆ **マスクを外した後は必ず石鹸で手を洗いましょう。**
（アルコール手指消毒剤でも可）

※マスクが汚れたときは、すぐに新しい清潔な乾燥マスクと交換。
※マスクがないときなどに咳やくしゃみをする際は、ティッシュ等で口と鼻を覆う。

こまめに手を洗いましょう

◆ **こまめに石鹸で手を洗いましょう、アルコール消毒をしましょう。**洗っていない手で目や鼻、口などを触らないようにしてください。

厚生労働省

裏面へ

換気をしましょう

◆ **定期的に換気してください。**共有スペースや他の部屋も窓を開け放しにするなど換気しましょう。

手で触れる共有部分を消毒しましょう

◆ **共用部分**（ドアの取っ手、ノブ、ベッド柵など）は、**薄めた市販の家庭用塩素系漂白剤で拭いた**後、水拭きしましょう。
・物に付着したウイルスはしばらく生存します。
・家庭用塩素系漂白剤は、主成分が次亜塩素酸ナトリウムであることを確認し、使用量の目安に従って薄めて使ってください（目安となる濃度は0.05%です（製品の濃度が6%の場合、水3Lに液を25mlです。））。

◆ **トイレや洗面所は、通常の家庭用洗剤ですすぎ、家庭用消毒剤でこまめに消毒しましょう。**
・タオル、衣類、食器、箸・スプーンなどは、通常の洗濯や洗浄でかまいません。
・感染者の使用したものを分けて洗う必要はありません。

◆ **洗浄前のものを共用しないようにしてください。**
・特にタオルは、トイレ、洗面所、キッチンなどでは共用しないように注意しましょう。

汚れたリネン、衣服を洗濯しましょう

◆ **体液で汚れた衣服、リネンを取り扱う際は、手袋とマスクをつけ、一般的な家庭用洗剤で洗濯し完全に乾かしてください。**
・糞便からウイルスが検出されることがあります。

ゴミは密閉して捨てましょう

◆ **鼻をかんだティッシュはすぐにビニール袋に入れ、室外に出すときは密閉して捨ててください。**その後は直ちに石鹸で手を洗いましょう。

- ご本人は外出を避けて下さい。
- ご家族、同居されている方も熱を測るなど、健康観察をし、不要不急の外出は避け、特に咳や発熱などの症状があるときには、職場などに行かないでください。

患者発生時の具体的な調査内容について（その１）

《職員の場合》

- 発症前14日間の勤務状況（出勤日、勤務時間等）
- 仕事の内容、施設内での行動状況（職種や、施設内での接触状況）
- 職員等の症状の有無
- 会議や会合、食堂・休憩室・更衣室など、複数人が集まる場の有無、利用人数（患者が誰とどのくらい話や食事をしていたか）
- 職場で行動を共にすることが多かった人の有無と状況
- 施設外の人との接触（来客、業者等）の有無と状況
- 通勤手段　　など

患者発生時の具体的な調査内容について（その２）

《職員の場合》
・出勤状況（症状があった日、出勤日の確認）
・職場の動線（行動範囲）、執務室等の環境（消毒、換気等）
・職員の出勤状況（職員の症状の有無、接触状況（時間、マスクの有無））
・執務室以外の場所での接触者の有無と状況。
（共有スペースでの食事、会議等での接触者等）
・職員以外の接触者（職場を出入りする者、出張先で接点のある者等）
の有無と状況。

《感染症対策の実施状況》
・患者発生前（平時）の実施状況
：消毒、換気等の状況
：健康管理体制（健康状態の確認、症状あった場合の休暇取得等）

従業員等に感染が確認されたときは、職場として必要な対応

1　従業員の感染が確認された場合に必要なこと

（1）職員名簿（住所、氏名、性別、生年月日）（＋健康観察簿、出勤状況）

（2）濃厚接触者及び濃厚接触者以外の接触者のリストアップ（住所、氏名、性別、生年月日）

発症日の2日前から入院または自宅等での療養の開始までの患者の行動に基づき

濃厚接触者等のリストアップ

（2）濃厚接触者及び濃厚接触者以外の接触者の健康観察（14日間）

確定患者と最後に接触があった日から14日間、健康観察を実施

（3）施設の消毒

患者が触れた可能性のある場所について、消毒剤を用いて消毒実施

2　濃厚接触者及び濃厚接触者以外の接触者のリストアップ

発症の2日前から入院または自宅等での療養の開始までの患者の行動に基づき、

患者と濃厚接触がある方及びそれ以外の接触のある方のリストアップ。

3　濃厚接触者及び濃厚接触者以外の接触者の健康観察（14日間）

- 濃厚接触者については、感染症法に基づき濃厚接触者が居住する保健所が実施します。
- 職場としても確定患者と最後に接触があった日から14日間、発熱や呼吸器症状等の有無について健康観察を実施し、記録してください。

- 濃厚接触者以外の接触者については、感染症法に基づく明確な規定はないので事例により対応が異なりますが、症状が出た場合には速やかに職場に報告する等必要に応じた対応をお願いします。

＜健康観察の方法（例）＞

・保健所から職場管理者に健康観察を依頼し、健康観察の結果を連絡いただく。

・保健所から対象者に発熱や呼吸器症状等の有無について、電話等で確認する。

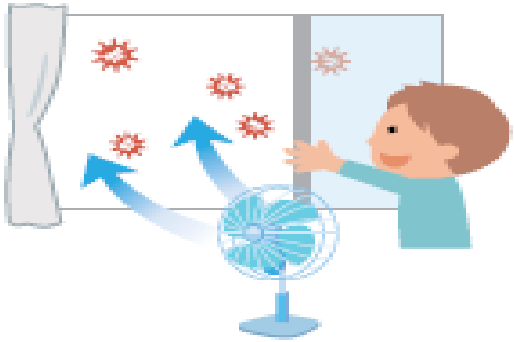
・濃厚接触者以外の接触者（自身）が業務開始前に発熱や呼吸器症状等の有無を職場に報告する。

指導内容（その１）

- 消毒の実施について
  →職員の動線、行動範囲に応じて高接触部位の消毒（消毒液を用いた清拭）
  →患者の執務室及び患者が利用した共有スペースの消毒（消毒液を用いた清拭）
- 換気：長時間の滞在が認められた場所
- その他
  ・リネン類の洗濯：通常の80℃・10分間の熱水消毒後、洗浄を行う。

感染者が発生したときの消毒方法

- 感染者が活動した範囲を特定して、汚染が想定される範囲、物品を消毒用エタノールまたは0.05％の次亜塩素酸ナトリウムにより清拭にて消毒する。
- 新型コロナウイルスは24～72時間が生存期間と言われており、消毒できない箇所は、3日ほど立ち入り禁止とする等の対応も。
- 症状のない濃厚接触者の触れた物品に対する消毒は不要。



消毒について

〈執務室、共有スペース〉

・ドアノブ、手すり、スイッチ、テーブル、電話など

〈 トイレ・洗面所 〉

・ドアノブ、トイレットペーパーホルダー、水栓レバー、便座など

《 作業中気をつけること 》

・サージカルマスク、長袖ガウン、頑丈な手袋（炊事用手袋等）、眼の防護具（ゴーグル、フェイスシールド等）

・消毒作業中に目、鼻、口、傷口を触らない。

・換気を十分に行う。

指導内容（その２）

- 濃厚接触者について

・不要不急の外出は控えて自宅で過ごす

・最終接触日から１４日間の健康観察

・症状が現れた場合、まずは保健所への連絡を

- 濃厚接触者以外の接触者について

・最終接触日から14日間の健康観察

・症状が現れた場合、まずは保健所への連絡を

・感染予防策の徹底

情報提供

- 新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA)

  ・互いに分からない形で接触した可能性について通知を受けることができる。感染拡大防止

- もしサポ岡山

  ・県内の施設、イベント会場利用の際、利用者にQRコードを活用して登録してもらうことで、コロナに関する情報提供、注意喚起を行う。

- 岡山県新しい生活様式実践事業者補助金

参考：

厚生労働省　「職域のための新型コロナウイルス感染症対策ガイド」
https://plaza.umin.ac.jp/jstah/pdf/corona04.pdf

ご清聴ありがとうございました。

（添付3-3）

新型コロナウイルス感染症患者の接触者における健康観察票

これは、管轄保健所が主体となって行う調査票です。観察対象者に対しては注意深く健康チェックを実施してもらい、もし気になる症状が現れたときには、必ず速やかに保健所へ連絡するよう伝えて下さい。健康観察は、患者との最終接触日から14日目で終了してください。

接触者番号:	観察対象者氏名:	住所:	TEL: - -
患者氏名:	患者との最終接触日時: 年 月 日 時	患者との関係:	Email: @

		1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	11日目	12日目	13日目	14日目
月日		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
最高体温		℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
呼吸器症状	咳嗽	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
	呼吸困難	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
	鼻汁・鼻閉	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
	咽頭痛	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
その他	嘔気・嘔吐	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
	結膜充血	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
	頭痛	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
	全身倦怠感	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
	関節筋肉痛	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
	下痢	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
	意識障害	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
	けいれん	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
	その他														
朝・夕の確認☑（確認手段（電話・面接等）を記載）		朝:□( ) 夕:□( )	朝:□( ) 夕:□( )	朝:□( ) 夕:□( )	朝:□( ) 夕:□( )	朝:□( ) 夕:□( )	朝:□( ) 夕:□( )	朝:□( ) 夕:□( )	朝:□( ) 夕:□( )	朝:□( ) 夕:□( )	朝:□( ) 夕:□( )	朝:□( ) 夕:□( )	朝:□( ) 夕:□( )	朝:□( ) 夕:□( )	朝:□( ) 夕:□( )
備考															
確認者															

保健所名: 備中　担当者:　所在地: 倉敷市羽島1083　TEL: 086－434－7072　FAX:

090-1110-1146

ご家族に新型コロナウイルス感染が疑われる場合

家庭内でご注意いただきたいこと

～８つのポイント～

（一般社団法人日本環境感染学会とりまとめを一部改変）令和2年３月１日版

部屋を分けましょう

◆ **個室にしましょう。**食事や寝るときも別室としてください。

・子どもがいる方、部屋数が少ない場合など、部屋を分けられない場合には、少なくとも2m以上の距離を保ったり、仕切りやカーテンなどを設置することをお薦めします。

・寝るときは頭の位置を互い違いになるようにしましょう。

◆ **ご本人は極力部屋から出ないようにしましょう。**
トイレ、バスルームなど共有スペースの利用は最小限にしましょう。

感染者のお世話はできるだけ限られた方で。

◆ 心臓、肺、腎臓に持病のある方、糖尿病の方、免疫の低下した方、妊婦の方などが感染者のお世話をするのは避けてください。

マスクをつけましょう

◆ **使用したマスクは他の部屋に持ち出さないでください。**

◆ **マスクの表面には触れないようにしてください。**マスクを外す際には、ゴムやひもをつまんで外しましょう。

◆ **マスクを外した後は必ず石鹸で手を洗いましょう。**
（アルコール手指消毒剤でも可）

※マスクが汚れたときは、すぐに新しい清潔な乾燥マスクと交換。
※マスクがないときなどに咳やくしゃみをする際は、ティッシュ等で口と鼻を覆う。

こまめに手を洗いましょう

◆ **こまめに石鹸で手を洗いましょう、アルコール消毒をしましょう。**洗っていない手で目や鼻、口などを触らないようにしてください。

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

裏面へ

換気をしましょう

◆ **定期的に換気してください。**共有スペースや他の部屋も窓を開け放しにするなど換気しましょう。

手で触れる共有部分を消毒しましょう

◆ **共用部分**（ドアの取っ手、ノブ、ベッド柵など）は、**薄めた市販の家庭用塩素系漂白剤で拭いた**後、水拭きしましょう。

・物に付着したウイルスはしばらく生存します。
・家庭用塩素系漂白剤は、主成分が次亜塩素酸ナトリウムであることを確認し、使用量の目安に従って薄めて使ってください（目安となる濃度は0.05%です（製品の濃度が6%の場合、水3Lに液を25mlです。））。

◆ **トイレや洗面所は、通常の家庭用洗剤ですすぎ、家庭用消毒剤でこまめに消毒しましょう。**

・タオル、衣類、食器、箸・スプーンなどは、通常の洗濯や洗浄でかまいません。
・感染者の使用したものを分けて洗う必要はありません。

◆ **洗浄前のものを共用しないようにしてください。**

・特にタオルは、トイレ、洗面所、キッチンなどでは共用しないように注意しましょう。

汚れたリネン、衣服を洗濯しましょう

◆ **体液で汚れた衣服、リネンを取り扱う際は、手袋とマスクをつけ、一般的な家庭用洗剤で洗濯し完全に乾かしてください。**

・糞便からウイルスが検出されることがあります。

ゴミは密閉して捨てましょう

◆ **鼻をかんだティッシュはすぐにビニール袋に入れ、室外に出すときは密閉して捨ててください。**その後は直ちに石鹸で手を洗いましょう。

- **ご本人は外出を避けて下さい。**
- **ご家族、同居されている方も熱を測るなど、健康観察をし、不要不急の外出は避け、特に咳や発熱などの症状があるときには、職場などに行かないでください。**